

写真展
古都鎌倉へのまなざし

記録集 続

鎌倉市中央図書館近代史資料室

写真展

2011年は鎌倉図書館100周年です

古都鎌倉へのまなざし

鎌倉市中央図書館収蔵写真より



日時：11月20日（火）～11月25日（日）

午前10時～午後6時まで（最終日は午後3時まで）

場所：鎌倉生涯学習センター（きらら鎌倉）地下ギャラリー（JR鎌倉駅前）

古い写真は、私たちに豊富な情報を運んでくれます。観光地、保養地として開けた鎌倉も時代とともに、さまざまな表情を見せてきました。カメラマンの深く温かいまなざしがとらえた風景や人物の写真は、過去からの贈りものです。今回はこれまでに中央図書館近代史資料室で収集してきた写真を展示し、移り変わる鎌倉の姿を紹介します。



■安田三郎(故・鎌倉国宝館カメラマン)撮影写真より

鎌倉 み仏へのいざない/古都鎌倉へのまなざしー自然と文化財保存のために

鎌倉文士の肖像/この人この頃(「月刊鎌倉市民」より) *画像検索コーナーもあります

■中央図書館収蔵写真より 寄贈していただいた写真を中心に年代とテーマに沿って

海浜の風景/谷戸・道・川/町並み/駅/段葛/海浜ホテル/別荘/震災/祭/消防/戦時中

鎌倉カーニバル/宅地造成/仕事と生活の一コマ/こどもたち/その他

主催：鎌倉市中央図書館(近代史資料室)

協力：安田三郎写真を保存する会 鎌倉国宝館

お問い合わせ TEL 0467-25-2611 (鎌倉市中央図書館)

(2007年11月 写真展チラシ)

まえがき

平成19年(2007)11月20日から25日までの6日間、鎌倉生涯学習センター市民ギャラリーにおいて「写真展 古都鎌倉へのまなざし」を開催しました。会場の半分は、元鎌倉国宝館カメラマン安田三郎氏撮影の写真131点を展示し、残り半分は市民の方々から寄贈された写真430点余を展示し、鎌倉の明治以降の姿を紹介しました。

安田三郎氏撮影写真展示記録は、写真展「古都鎌倉へのまなざし」記録集(平成20年7月)にまとめ、図書館で閲覧いただくことができます。

本冊子はその続編として、市民の方々から寄贈された写真の展示記録をまとめたものです。今後とも古写真収集作業を進め貴重な鎌倉の記録として保存していく所存です。ご協力をお願いいたします。

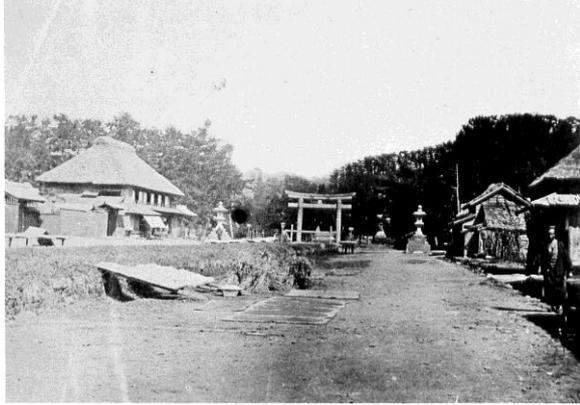
平成20年12月

鎌倉市中央図書館 近代史資料室

目次 (ページ)

明治・大正期の鎌倉	1 ~ 13
関東大震災……………	13
大正・昭和戦前期	14 ~ 28
谷戸の奥の史跡……………	19
鎌倉カーニバル……………	21
国防婦人会……………	26
防空演習……………	27・28
戦後・昭和40年代まで	29 ~ 39
戦後の風景……………	29
復活鎌倉カーニバル…	30
鎌倉の映画館……………	32
古写真を提供いただいた方と写真一覧	40 ~ 69

明治・大正期の鎌倉



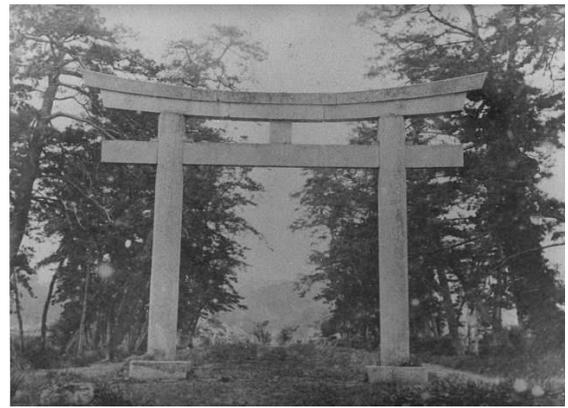
幕末の鶴岡八幡宮参道 石造の三の鳥居の前には常夜灯や大きな旅籠「対鶴楼」が目につくが、一段と高くなった段葛に筵をひろげ、畑の収穫物を干してあることに驚かされる。
写真は『甦る幕末』(朝日新聞社)より。



舞殿と若宮社 幕末から明治初期に横浜で活躍した写真師ベアト(Felix Beato)の撮影。左スミに座っている外国人はベアトの同行者であろう。後山の植生が今と違っている。1867年から68年頃の写真とみられている。(横浜開港資料館所蔵)



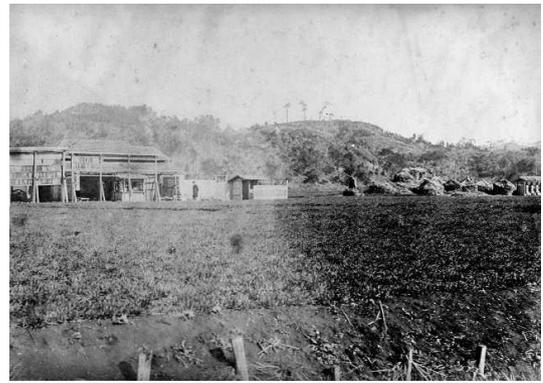
下馬四つ角 英人殺害事件の現場 元治元年(1864年)10月22日(旧暦)、江ノ島・鎌倉見物中のイギリス人士官2人が、尊攘派の浪人によってここで殺害された。手前の石橋から藁葺き屋根の間を通過して長谷方面へ道が通じている。
(ベアト撮影 横浜開港資料館所蔵)



二ノ華表 明治26年頃撮影。二の鳥居と段葛は高い松の木におおわれ、道には石がごろごろしている。旧備後福山藩藩主阿部家の当主阿部正桓氏が各地遊覧の節、鎌倉で撮影したものである。(東京・阿部正道氏所蔵)



若宮大路遠望 明治20年代の若宮大路遠望。藁葺き屋根が並んでいる辺りが下馬四つ角。(小坂周防氏所蔵)



六地藏 明治20年代。一面の畑の中に六地藏が立ち(右端)、中ほどに芭蕉句碑も見える。左の腰掛食堂には「寿し」の看板が掛かっている。畑からは小麦、芋、西瓜などを収穫していた。(小坂周防氏所蔵)



長谷風景 明治20年代。遠くに長谷観音堂の屋根が見える。山際に二階建ての「お別荘」らしき建物が建ちはじめている。今の文学館辺りも一面の畑であった。(中央図書館所蔵)



由比ヶ浜遠望・海岸通り・海浜院 明治20年代。松林の中に建っている洋風の建築が海浜院ホテル。遠くに逗子・葉山が霞んでいる。(中央図書館所蔵)



滑川河口の砂丘 明治20年代。滑川河口は葦が生茂り、東に大きく蛇行していた。すでに別荘らしい建物が見える。明治24年の新聞には、「前田公ほか50余の別荘あり」の記事。(中央図書館所蔵)



材木座海岸で海水浴を楽しむ女性 明治30年代。特徴的なシマ模様、半ズボン風の海水着を着けている。(中央図書館所蔵)



海浜院正面 海水浴の効能を説いて、鎌倉由比ヶ浜を最適な海浜として推奨した内務省衛生局長長与専齋と横浜の豪商達が、西洋式保養施設「鎌倉海浜院」を設立したのが明治20年。21年にはホテルに転換した。写真は明治26年頃。(阿部正道氏所蔵)



海浜ホテルのコックさんと「女中さん」
前列中央は支配人青山和三郎。
明治40年頃。(東京・青山尚徳氏提供)



海浜ホテルの「女中さん」たち
明治40年頃。(青山尚徳氏提供)



海から見た海浜ホテル全景 明治40年頃。
砂丘と松林の中に豪華な建物が見える。すでにイギリス人建築家ジョサイア・コンドルによって改築されている。(青山尚徳氏提供)



海浜ホテルにて医学関係者と鎌倉町関係者
犬山初蔵町長(前列左から6人目)、医師清川来吉(前列右から4人目)、医師寺島大浩(前列右から5人目)ほか。(青山尚徳氏提供)



細菌学者コッホを迎えて
明治41年7月。北里柴三郎は恩師ロベルト・コッホを鎌倉に迎えた。コッホは霊山からの眺めを楽しみ、海浜ホテルに滞在した。(青山尚徳氏提供)



コッホの碑前にて 大正3年3月4日 ドイツに帰国後、1910年(明治43年)5月に亡くなったコッホ博士を悼み、北里等は霊山の山頂に記念碑を建てた。大正元年9月14日に予定していた除幕式は明治天皇の大喪と重なり延期となり、一年後に挙行された。この写真は、さらに一年後大正3年(1914年)3月にコッホ夫人を迎えて臨時祭を行なった時のもの。夫人の横に立つ日本女性は、コッホ夫妻に同行してドイツに行ってきた海浜ホテル「女中」村木はなである。(青山尚徳氏提供)



大仏の横顔
明治20年代。
(中央図書館所蔵)



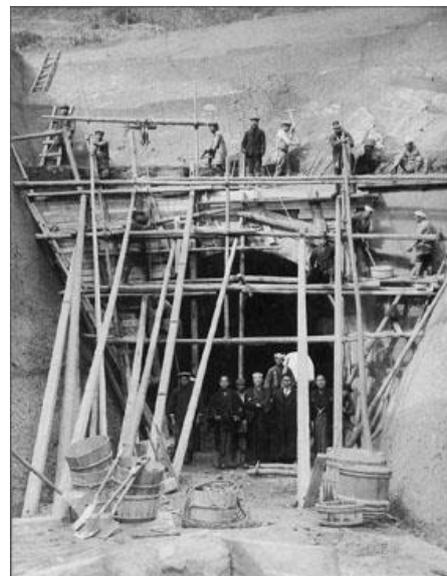
大仏 明治20年代。この蘇鉄の前は、よく記念撮影のスポットに選ばれた。
(中央図書館所蔵)



大仏の前で 明治26年頃。階段の前でポーズを取る人たち。この頃から、大仏に登らせて喜捨を取り、写真を撮ることもあった。
(阿部正道氏所蔵)



長谷観音参道 旅館、料理屋、土産屋が並ぶ参道は江戸時代以来、今も変わらない。左手の「一新講社 周旋方」の看板は旅館組合(結社)加盟の目じるし。右手には薪を積み上げ、「木賃宿」という言葉が浮かんでくる。明治20年代。(小坂周防氏所蔵)



大仏坂トンネル開通 明治39年頃。大仏坂の通行難を解消するために、打越へ通じるトンネルが掘られた。工事の丸太組はまるで築地小劇場の舞台装置を思い起こさせる。人物にポーズを取らせて撮影したのは、長谷真柄写真館。中央和服姿は犬山初蔵町長。(岸美重子氏提供)



不明な写真 明治末～大正初。場所は長谷大谷(はせおおやと)か? 「日本スクウェア工業鎌倉工場」の看板が見える。関連写真から落成式には町長、警察署長、駅長、大工の棟梁、職人の親方、町の名士達が揃っている。
(三橋英夫氏提供)



鎌倉郵便局 明治8年長谷郵便取扱所開設から始まり、明治21年に八幡前の大石氏へ、そして明治31年小町の島森氏へと引き継がれ、同氏は大正4年まで局長をつとめた。局の裏には印刷所「通友社」があった。前列右から5人目羽織袴姿は局長の島森一氏。明治30年代。(島森慎一郎氏提供)



一族の記念写真 明治34年4月5日。坂ノ下の旧家。質屋営業・収入印紙売捌所・郵便切手売下所・売薬請...の看板が掛かっている。(平野雅道氏提供)



鎌倉銀行本店 現在の生涯学習センターと島森書店の間にあつたが、大正12年の震災で倒壊した。鎌倉銀行の創立は明治30年、小町へ移転したのは明治39年という。この頃の撮影か。レンガ造りで明治の様式。撮影は山辺写真館(長谷)。(田川誠一氏提供)



鎌倉銀行関係者 明治末。(田川誠一氏提供)



日本実業銀行鎌倉本店新築落成 明治45年5月7日。横須賀市深田にあつた本店が鎌倉に移転。現在のこの鳥居脇「ユニオン」の場所に土蔵造り風の重厚な建物を新築。かまくらっ子も集って落成式の賑わい。取締役に関平右衛門一族が就任。関東大震災で倒壊焼失した。(高柳英麿氏提供)



鎌倉彫博古堂 開店10周年記念。鎌倉仏師達が仏師の誇りをもって、明治の激動期を乗り越え、明治鎌倉彫の新しい時代を切り開いた。扇ガ谷に本拠を持つ後藤家が、現在地に博古堂 陳列館を開店したのは明治33年(1900)。写真は10周年を記念して、前列右が後藤運久夫妻。明治43年。(後藤家所蔵・パネルは後藤家より借用)



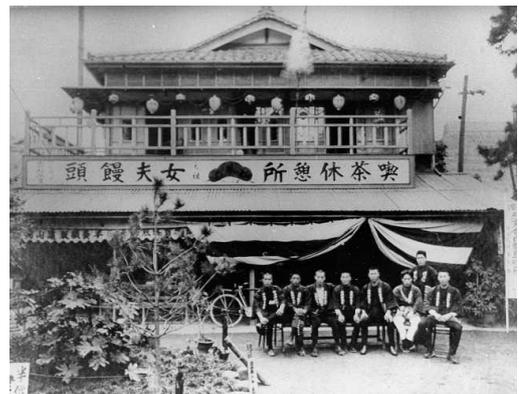
大坂屋呉服店 大町四つ角で手広く呉服店を営む。大正4年11月10日。大正天皇即位の御大典を祝って、大坂屋の主人、家族、使用人、出入りの大工職も勢揃いで記念撮影。明治40年頃の創業。初売りには鎌倉中はもとより、金沢からも買いに来た。(河野岩雄氏提供)



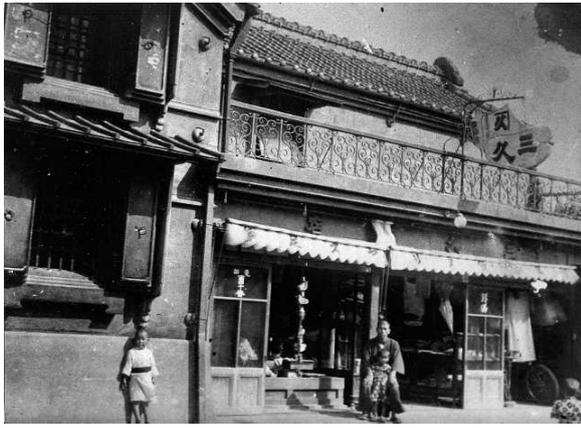
由比ガ浜 木村家パン屋 大正5年頃、横田恵助・サク夫妻が銀座木村屋ののれんわけで、高級洋菓子店を開店。ショートケーキなどしゃれた洋菓子で子供にはどうも買えなかったと当時を回想するお年寄りたち。震災で倒壊し、その後は2階建てをやめたという。大正初期。(横田氏提供)



集美堂 島森書店の前身。のれんに「書籍 雑誌 運動具 集美堂」。印刷所「通友社」で刷った絵葉書を大八車で江ノ島まで売りに行ったと慎一郎氏は語っていた。写真は、大正5年頃。(島森慎一郎氏提供)



松風堂女夫饅頭 大正10年頃新築の記念写真。震災で焼失した。創業明治40年。(松風堂提供)



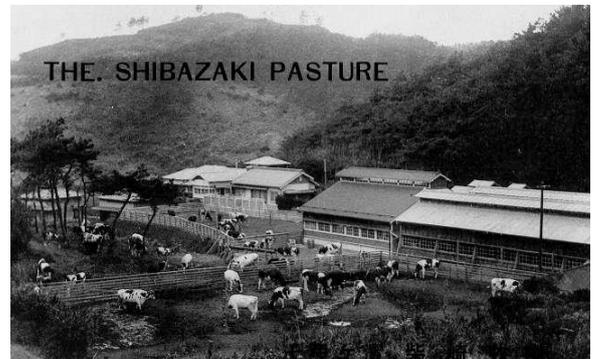
三久商店(さんきゅう) 明治から大正にかけて、大町町小路で足袋、メリヤス問屋を商う(三河屋・山本久左衛門)。足袋をかたどった大きな看板が商売繁盛を物語っている。大正初期。(山本堯氏提供)



上棟式 長谷山源商店。大正8年。4年後の関東大震災で焼失。(石渡源三郎氏提供)



吉田屋陶器問屋初荷風景(八幡前通り)
「5代吉田庄次郎時代」と記す。横須賀、三浦、金沢、逗子、湘南方面一帯へ出荷。愛知県常滑に土管などの製造所もあり、貨車で鎌倉に運んできた。大正7年1月4日。(吉田陶器店提供)



柴崎牧場七里ヶ浜 別荘や療養所の多い鎌倉では明治期から牛乳の需要が多かった。外国航路に乗っていた柴崎梅吉が長谷に牧場を開き、大正5、6年には七里ヶ浜へと牧場を移転した。大正6年頃。(柴崎牛乳本店提供)



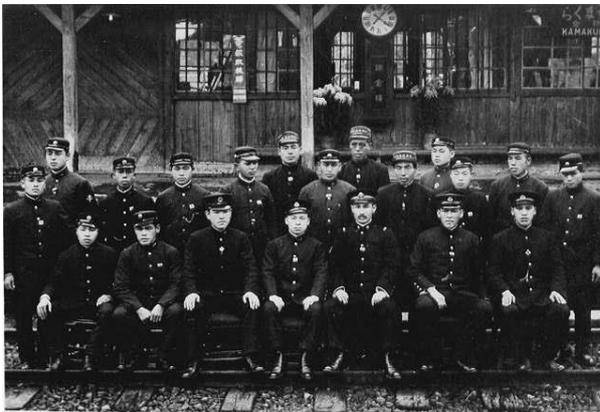
腰越土屋酒造 大正初期。龍口寺前の大通りに面して明治30年代より醸造を営む。新潟から杜氏を20余人招いて、「袖ヶ浦」「東国」などの銘柄。震災で井戸水が変化し、廃業。



鎌倉町消防出初式記念写真 大正4年1月7日。
鎌倉警察署の前に集合。左の高い建物は火の見
櫓。（高橋茂氏提供）



鎌倉町消防 刺し子とフェルト帽で
正装した大町消防組の若衆たち。大
正初期。（石川喜一氏提供）



鎌倉駅舎と駅員 大正4年11月10日。「大
正御大典の日に」と記されている。この後、大
正5年にとんがり屋根の新しい駅舎が建つ。



下馬四つ角に巨大な杉のアーチ 由比
ヶ浜青年会が建てたと大書してある。頂上
には地球儀に「大日本帝国」の字が見える。後
方は横須賀線ガード、さらに八幡宮がはる
かに見える。大正の御大典記念と思われる。
大正4年11月。（安斉謙介氏提供）



笹目の別荘 広い敷地に洋館と和館が並んでいた。大正8年。(加瀬正一氏提供)



笹目の別荘 洋館の玄関に集った子供たち。大正8年夏。(加瀬正一氏提供)



小町の邸宅 正門は若宮大路に面している。中庭で撮影。屋根越しに二の鳥居周辺の松並木が見える。この家は現峯動物病院辺りにあったが、震災で倒壊した。大正10年頃。(増沢華子氏提供)



明治幼稚園園児 現清川病院裏手あたりにあった明治幼稚園。新しく転入してきた別荘のこどもたちが通い始めた。震災で倒壊し閉鎖。大正初期。(加瀬正一氏提供)



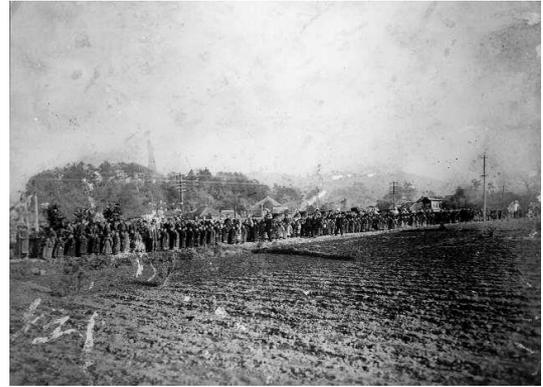
材木座モリソン邸 慶応2年に来日して横浜で居留地貿易を始めたイギリス人モリソンは明治35年材木座の砂丘上に塔のある大きな西洋館とコテージ風の借家を8軒ほど建てた。外国人の社交場となり、歴史の舞台にも登場した場所であるが、夫の死後モリソン夫人は戦時中敵性外国人とされ箱根の抑留所でさびしく亡くなった。大きな建物は海に出た漁師の目印になったという。大正10年。(岡本雷氏撮影 大工原氏提供)



モリソン屋敷で働く女性達 左の男性は華道師範。撮影は昭和初め。(伊藤とよ子氏提供)



葬送行列 大町名越で松溪医院を開業していた医師寺島大浩氏夫人の葬列が病院前を出発する。寺島氏は大礼服着用で棺に付き添う。キリスト教式葬儀である。大正2年。(寺島浩一氏提供)



葬送行列 子供も加わり、僧侶の数も多い盛大な行列。故人のごく近親の者は白いかぶり物を着けて参列し、「シロキ」といわれた。八幡宮前宗兼写真館撮影。大正初期。(甘粕小三郎氏提供)



子供たち 大正10年。(岡本雷氏撮影 大工原氏提供)



米寿のお祝い 坂ノ下権五郎神社で撮影。中央は鎌倉町初代町長村田久四郎氏。大正10年。(田川誠一氏提供)



たたみいwash作業の女性たち 腰越海岸にて。砂浜にたたみいwashの木枠がたくさん並べられている。屋根も無いのできつい仕事であった。大正10年。(岡本雷氏撮影 大工原氏提供)



ペンキ屋さん 鎌倉に洋風の別荘が建つ時代、ペンキやさんが大活躍。横浜で修行。大正時代。(伊藤とよ子氏提供)



神奈川師範附属尋常小学校卒業記念
八幡宮階段にて。明治37年。
(岸美恵子氏提供)



鎌倉女学校創立の頃 前列中央に創
立者の一人星野天知氏。明治37年頃。
(岸美恵子氏提供)



鎌倉高等女学校
同窓会記念。大正10年5月。(安斉智子氏提供)



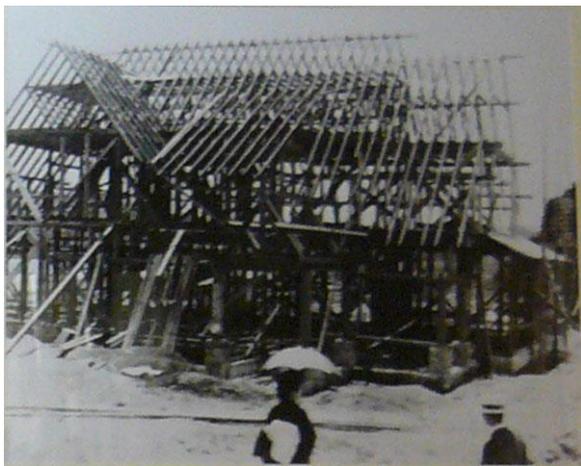
小坂村処女会 処女会は明治から大正期に
若い女性たちの修養を目的に組織され、青年
会とともに活動。婦人会へと編成されていく。
大正末。(平出金平氏提供)



横浜区裁判所小袋谷出張所 小袋谷踏切脇にあ
った出張所。開設は明治26年11月1日。土地登記
などを扱った。法務局鎌倉出張所の前身。大正初
期。(平井利一氏提供)



大船田園都市 大船駅東側一帯を理想的な田園都市にする計画があった。現在の町の骨格はこの時作られた。造成地の検分をする地元の役員と土木技師。大正10年頃。(渡辺昶氏提供)



大船田園渡辺邸建築中 田園都市の代表者渡辺銀行渡辺六郎氏の邸宅。イギリスの田園都市構想の影響を受け、理想的な街づくりをめざした。(渡辺昶氏提供)



大船田園都市街路 車道と歩道を分け、街路樹を植え、建物や塀の高さなどに建築物規定を設けて、明るい町並み作りをめざした。東南方向を望む。中央の家は建築中の渡辺六郎邸。大正13年。(栗田文四郎氏提供)



先生と小学生 小坂尋常小学校卒業記念。大船田園都市に越してきた子供は洋服を着て革靴を履いていたので、地元の子供は驚きの目で迎えた。進学組の子ども達か。真柄写真館で撮影。大正14年。(甘粕小三郎氏提供)

関東大震災



震災 八幡宮舞殿
大正12年9月



震災 鎌倉停車場前
大正12年9月



震災 三団体事務所
倒壊した町役場の前に。
大正12年9月



震災 停車場前付近
ガードの近く 大正12年9月



震災 材木座モリソン屋敷
大正12年9月



震災 稲瀬川左岸
津波に襲われた別荘の跡
大正12年9月



震災 建長寺山門
大正12年9月



震災 荏柄天神社
大正12年9月



震災 大仏前進
大正12年9月



震災 長谷通り
大正12年9月



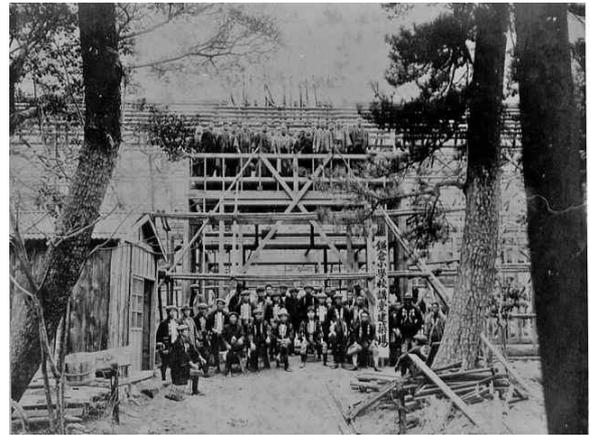
震災 坂ノ下通り
大正12年9月



震災 巨福呂坂崩落
復旧工事に工兵隊出動
大正12年9月10～21日



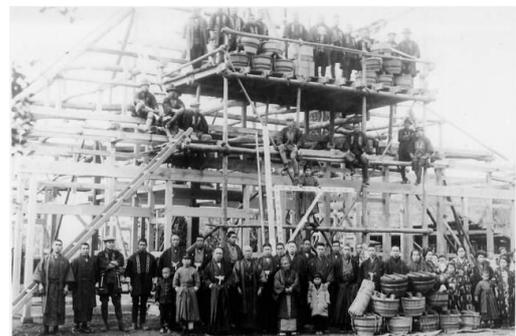
鎌倉町復興祭 震災から3年目の夏、甚大な被害から立ち直り、盛大に復興祭。八幡宮で報告祭、鎌倉小学校講堂での祝賀会、海浜大演芸会、そして八幡宮境内で野外ページェント「地藏経由来」(久米正雄原作)などが繰り上げられた。大正15年7月。(木村春男氏所蔵)



鎌倉小学校講堂建築上棟
大正15年。(三橋英夫氏提供)



腰越夏祭り 震災からの復興が進み、名物の山車5台が町を練り歩いた。写真は6月に再興された下町(したちょう)の山車。大正15年7月。



梶原の農家上棟式 震災後の復興。この建物は昭和18年、海軍工廠建設の敷地内に当り、強制的に現在地に移動となったが、今も健在である。大正15年2月。(石井道喜氏提供)



材木座小原牧場
紅ヶ谷の奥で明治中期から牧場を経営。写真は1925年。
(岸美恵子氏提供)



材木座小原牧場
牛乳配達は今も昔も厳しい仕事。外国人や別荘族が多い鎌倉ならではの商売だった。大正14年。
(岸美恵子氏提供)



小原牛乳搾取所で働く男性
写真館で撮影。服装がなんとなくおしゃれ。明治41年2月。
(岸美恵子氏提供)



鎌倉山開発 切り
通し道路工事。若松
あたり。昭和4年頃。
(米山尚志氏提供)



鎌倉山開発 株
主・購入者見学会。
鎌倉山ロータリー付
近。昭和5年春頃。
(米山尚志氏提供)



鎌倉山開発 大船駅バス発着所。
昭和5年夏。(米山尚志氏提供)



鎌倉山「星の会」
鎌倉山別荘の青年
たちが子供たちのた
めに活動した「星の
会」鎌倉山ロッジ
にて。「爆弾三勇士」
の碑もここにあっ
た。昭和12年夏。
(米山尚志氏提供)



大船町町制記念 小坂玉繩村組合議員
昭和8年4月1日。うしろの建物は
大正15年大船田園都市株式
会社設計で新築された町役
場(建設当時は組合村役場)。
(平井利一氏提供)



北鎌倉駅開業 昭和2年6月に夏
だけの停車場として開設さ
れ、付近住民が待望する常
設駅として昭和5年10月に
開業。構内営業の人力車と
ホロ型タクシー。駅で使う
水は売店経営者の家から桶
で担ってきたという。昭和
5年。(小泉吉氏提供)



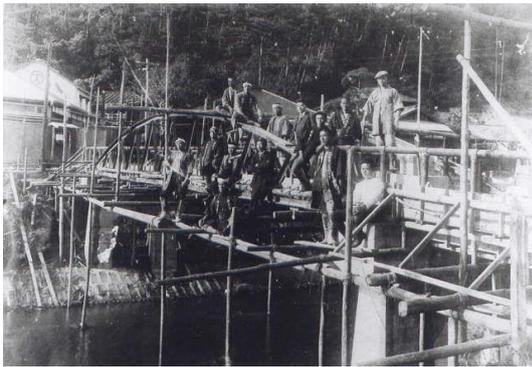
松竹撮影所の地鎮祭 平井大船町町長(左
端)と松竹キネマ大谷竹次郎。
昭和9年。
(平井利一氏提供)



ふわん坂 玉縄久成寺入口の通称「ふわん坂」下。さびしそうな風景で、右端に帝釈天王塔らしい石碑がポツンと立っている。今はマンションが建ち、敷地の角に石碑がおさめられている。昭和初期。(霜田繁男氏提供)



柏尾川改修 昭和初期カ 年不詳
(富岡洋一氏提供)



富岡橋竣工 横浜のアーチ型赤橋を移築。富岡ハム工場の近くの柏尾川に架橋。昭和8年11月。(山田三郎氏提供)



深沢地区の精農家 都会からの客を迎える。離れに泊めていた文学者の友人たちか？ 昭和5年頃。(農業企画出版会提供)



手広でメロン温室栽培 八反目の肥沃な土地に東京府立園芸学校で技術を身につけた永井種男氏が最新のメロン栽培を手掛けた。昭和7年頃。(永井壤太郎氏提供)



植木職人 昭和金融恐慌の影響を受け、農家の現金収入を得る道として、国鉄に勤めたり、技術を身につけ副業につく男の人が多くなった。昭和8年。(農業企画出版会提供)



半纏姿の仕事師 写真の若者は寺分の温泉の経営にもたずさわった。昭和初期。(中田実氏提供)



大町消防自動車披露 昭和5年に消防組第2分隊(大町)はグラハム社製の新しいポンプ自動車を購入。後の瓦葺の建物は旧大町公会堂。昭和8年ごろ撮影。(七島寛次氏提供)



腰越の消防組 腰越星野写真館で撮影。昭和初期。(細井敬氏提供)



藤棚のある家 友人の学者仲間と集う山川均、菊栄夫妻。稲村ガ崎自宅にて。昭和7年5月9日。(大森映氏提供)



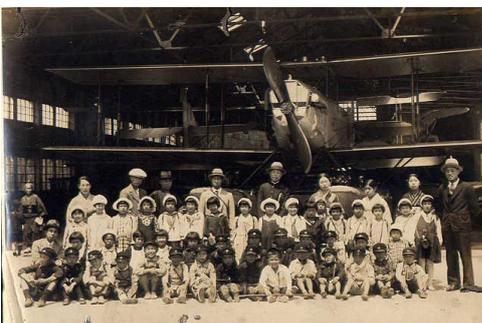
扇ガ谷のモダンな家に集う 鎌倉の静かな谷戸の奥に住まう文化人は多かった。昭和初期。(矢内原鋤子氏提供)



宅間ヶ谷の新しい家 こどもたち。昭和8年。(加藤幸恵氏提供)



書初め 第二小学校のこどもたち。昭和8年。(加藤幸恵氏提供)



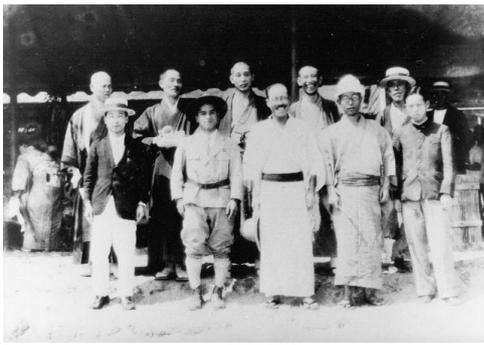
遠足で追浜飛行場へ 最新戦闘機(甲式4型)の前で記念撮影する第二小学校のこどもたち。昭和8年。(加藤幸恵氏提供)



由比ヶ浜の漁師 盛んに漁をしていた頃。
昭和7年。(松本清一氏撮影)



地引網 昭和9年頃。
(大森義太郎氏撮影)



鎌倉盆踊り歌入賞 「盆が来た来た 鎌倉山の コリヤサ ♪♪～」と始まる盆踊り唄の入賞者は青年団員の林茂雄さん。鎌倉仏教親和会が募集し、代表選者は作家久米正雄氏。今も夏が来るとこの唄に合わせて踊っている。昭和8年夏。(林茂雄氏提供)



海の家更衣所
昭和10年頃。
(村尾厚子氏提供)



夏の由比ヶ浜 スイミングキャップがかわいい。
昭和13年頃。(石渡康男氏撮影)



夏の浜辺 和洋の装い
昭和9年。(大森義太郎氏撮影)



海辺のカメラマン 昭和9年。(大森義太郎氏撮影)

谷戸の奥の史跡

昭和 10 年頃



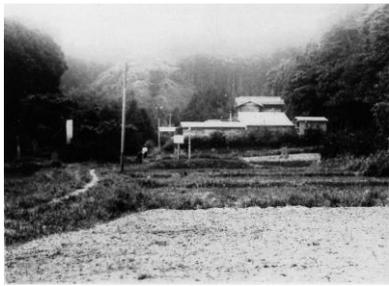
理智光寺址



大慈寺址



足利公方址



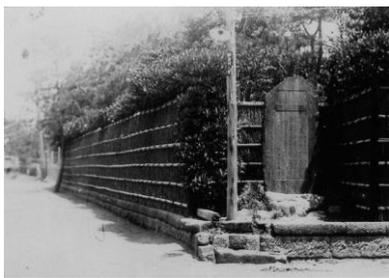
勝長寿院址



東御門址



西御門址



問注所址



塔の辻



若宮大路幕府址



宇都宮幕府址



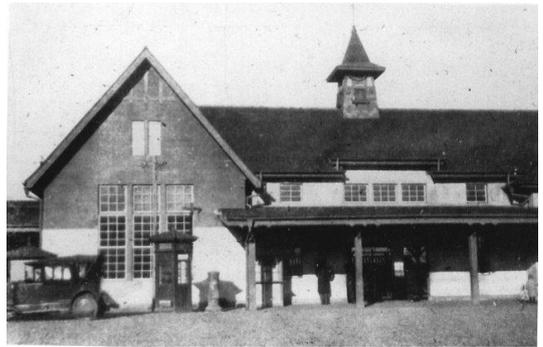
若宮大路 二の鳥居



乱橋



音無し橋風景 橋を渡ると海岸沿いに洋風の別荘が並んでいた。のどかな空気が伝わってくる。昭和10年頃。(隈元基氏撮影)



鎌倉駅舎 駅前には電話ボックス、ポスト、ホロ付自動車などが見える。昭和11年。(木村一郎氏撮影)



指物平塚の店 二の鳥居脇にあった指物(さしもの)の店。松の古木に覆われた数奇屋造りの店構え。「銀座平塚」が鎌倉に支店を出した。昭和10年頃。(平塚真氏提供)



豊島屋 若宮大路の現在地に震災から再建新築した店構え。古い松の木とその保護柵が当時を忍ばせる。昭和初期。(久保田雅彦氏提供)



腰越食堂かきや 昭和初期。(かきや食堂提供)



乾物のり真 震災から復興した大正15年。(石渡康男氏撮影)



旅館対僊閣 今も同じたたずまいで長谷観音参道に在る。昭和15年頃。(対僊閣提供)

鎌倉カーニバル



「鎌倉景気は天気から」 第一回鎌倉カーニバルに出演した青年団。六地藏横の広場にて。昭和9年。(林茂雄氏提供)



カーニバル 鎌倉駅前で山車をひく青年団員。昭和10年。(内田シゲ氏提供)



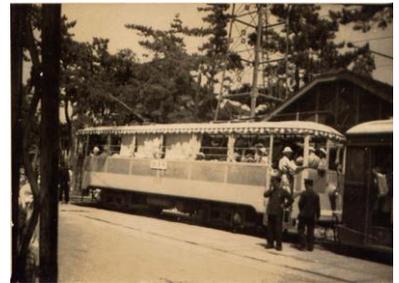
カーニバル 鎌倉海老に乗るベティさん。昭和11年。(朝戸涼氏提供)



カーニバル 鎌倉名産。昭和11年。(朝戸涼氏提供)



カーニバル 駅前を出ていくパレードの先に火の見櫓が見える。昭和11年。(朝戸涼氏提供)



カーニバル 江ノ電納涼電車は今でも楽しい思い出。昭和11年。(朝戸涼氏提供)



カーニバル 駅前の歓迎アーチ。(朝戸涼氏提供)



カーニバル 若宮大路を進む龍の張り子。昭和11年。(石渡康男氏撮影)



カーニバル 豚の張り子で富岡ハムの宣伝。昭和11年。(石渡康男氏撮影)



カーニバル 帆立貝に乗った美の神。昭和12年。(石渡康男氏撮影)



カーニバル ユーモラスなビールの宣伝。昭和11年。(石渡康男氏撮影)



カーニバル トーチカに陣取った金太郎。昭和13年。(石渡康男氏撮影)



海水浴場開きの余興舞台 昭和13年7月10日。(石渡康男氏撮影)



長谷通りのミルクホール 大仏坂にあった牧場直営のアイスクリーム販売。昭和11年頃。(石渡康男氏撮影)



配達の小僧さん 自転車で稲村ヶ崎を走る。御用聞きと配達の時代だが、もう電話も活躍していた。昭和12年11月。(石渡氏提供)



お正月の紙芝居 長谷の通りに集る晴れ着の子ども達。昭和12年1月1日。(石渡康男氏撮影)



お母さんと子ども達 長谷通りで。昭和13年3月。(石渡康男氏撮影)



商家のお兄さん 昭和11年頃。(石渡康男氏撮影)



諏訪池の傍で 諏訪神社の池はうっそうとして昼なお暗かった。現在の市役所駐車場あたり。昭和12年。(宇多綾子氏提供)



御成小運動場で 遊具に乗る子供たち。昭和12年。(宇多綾子氏提供)



農事試験場の田植え 玉縄耕地に、移設されたモダンな建物の県立農事試験場は品種改良などに力を入れた。現在「フラワーセンター」。昭和11年5月。(御所見直好氏提供)



御成小運動場で 花壇の子供。昭和12年。(宇多綾子氏提供)



土俵 大船町青年団相撲大会。玉縄小学校(国民学校)にりっぱな土俵が備えられ、「高砂浦五郎杯」相撲大会が行なわれた。昭和17年頃。(平井利一氏提供)



芍薬園傍でアイスクリーム屋さん 農事試験場の芍薬園を訪れる人は多かった。その客を目当てに。昭和10年6月。(馬越明子氏提供)



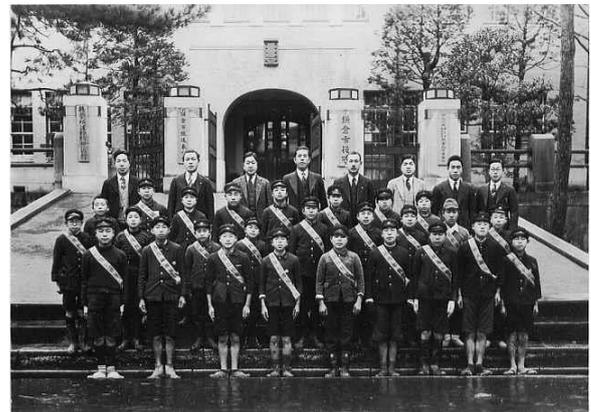
南京陥落提灯行列
全国的に祝賀行事が行なわれ、鎌倉でも町ごとに提灯行列が行なわれた。昭和12年12月。(朝戸涼氏提供)



葛原岡日野俊基碑参拝 国民服を着た大船地区の人達。昭和18年頃。(甘粕小三郎氏提供)



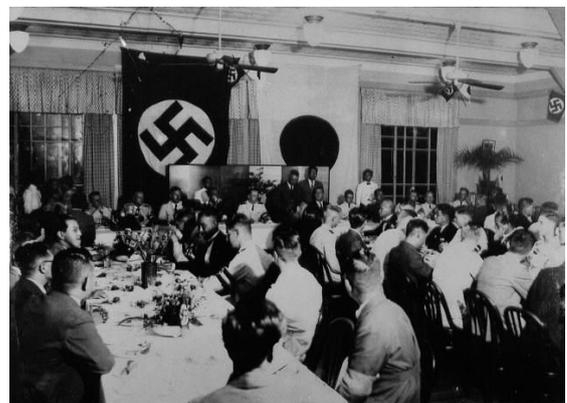
鎌倉署管内事情座談会記念
この年国家総動員法発動。10月、広東、武漢三鎮占領の報が入る。海浜ホテルにて。昭和13年10月29日。(平井利一氏提供)



銃後報国隊 勤労奉仕のために市役所前に整列する第一小学校高等科二年。昭和14年。(内田シゲ氏提供)



紀元2600年記念 長谷甘縄神明にて楽隊を中心に笑顔の人達。まだ戦争は深刻な影を落としていなかった。昭和15年。(石渡源三郎氏提供)



ヒットラーユーゲント来鎌 海浜ホテルにて歓迎集会。昭和13年9月。(内田喜恵氏提供)



鎌倉の学徒出陣 八幡宮に集合した鎌倉の学生たち。昭和18年11月21日。この写真をもとに、関係者たちが『回想－戦争と鎌倉人』（平成8年）を出版した。（中央図書館所蔵）



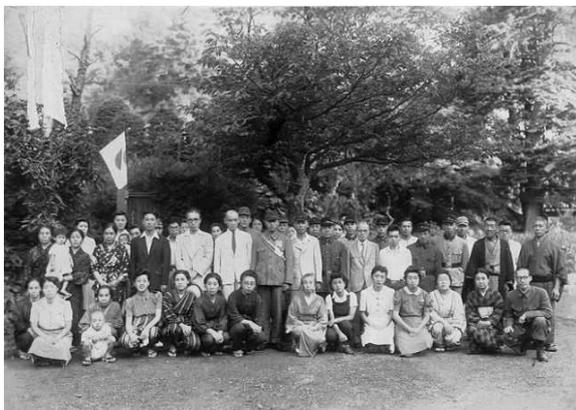
出征兵士 金子純さん。昭和13年8月6日。（石渡氏提供）



出征兵士 鎌倉駅前にて長谷石渡芳男さん。昭和14年7月29日。（石渡氏提供）



祝入営 大西清道さん。（関スミ子氏提供。）



入隊 宅間ヶ谷の人達に送られて。昭和19年8月。（加藤幸恵氏提供）



出征兵士 鎌倉駅頭歓送。昭和14年9月（「国防婦人会小町班アルバム」より）

国防婦人会



国防婦人会 坂ノ下
虚空蔵堂階段にて。
(三留和男氏提供)



国防婦人会 小町班。
昭和十三年八月。



国防婦人会 大船町
(小池新太郎氏提供)



遺家族慰安会 鎌倉松竹映画場
において、鎌倉町・腰越国防婦人
会が開催。昭和十五年一月。(「国防
婦人会アルバム」より)



国防婦人会勤労奉仕
葛原ヶ岡神社参道工事。
昭和十三年八月。



葛原ヶ岡参道勤労奉仕
昭和十三年頃。



大船撮影所慰問演芸会
(小池新太郎氏提供)



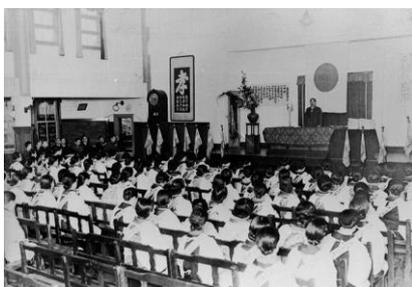
慰問袋を作る鎌倉山婦人達
左から3人目が藤原あきさん、
4人目が田中絹代さん。
(海老原利蔵氏提供)



「英霊」を迎える 大船駅頭
にて平井町長と在郷軍人会。
(平井利一氏提供)



大日本婦人会結成 第1回式典。
鶴岡八幡宮参拝。最前列左は鈴
木富士弥市長夫人。この年2月、
愛国・国防婦人会が統一された。
昭和十七年四月十八日。(中央図書館
所蔵)



国防婦人会総会 第一小学校講
堂にて。昭和十六年五月。



宮様の慰問 大船町役場にて。
同日、鎌倉町役場裏の授産所も
訪問された。昭和十七年四月二十
日。(小池新太郎氏提供)



鎌倉ペンクラブ夏季大学 第1回。御成小学校講堂で開催。久米正雄は「小説 稗史」と題して講演。講堂には約100名の若い聴講生たち。昭和12年。(逗子・黒田康子氏提供)



鎌倉文化協会発会式 第一小学校講堂にて。昭和15年5月。前年の鎌倉市誕生を契機に鎌倉・腰越在住の有志が地域文化のために働く会を作った。戦後の鎌倉大学(アカデミア)の母体となった。(木村彦三郎氏提供)

防空演習



防空演習 極楽寺地区。昭和14年(内田一男氏提供)



防空演習 (三矢香織氏提供)



防空演習 琵琶小路地区。(片岡辰郎氏提供)



防空演習 小町蛭子神社にて。昭和14年10月30日。(関スミ子氏提供)



防空演習 御成通り。昭和16年頃。(高橋栄子氏提供)



防空演習 大町八雲神社前。昭和18年頃。(山本堯氏提供)



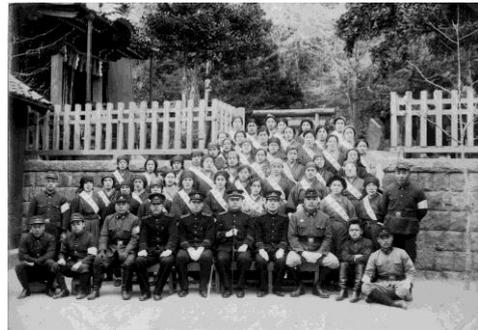
防空演習 大町常栄寺前。昭和18年頃。
(石川喜一氏提供)



防空演習 大町米町地区。昭和19年頃
(遠藤千鶴子氏提供)



防空演習 由比ヶ浜六地藏地区。
(遠藤初枝氏提供)



家庭防火群長 乱橋材木座警防分団。五所
神社境内。昭和15年1月。(岸美恵子氏提供)



防空演習 材木座地区。(関スミ子氏提供)



防空演習 材木座地区。(伊藤とよ子氏提供)

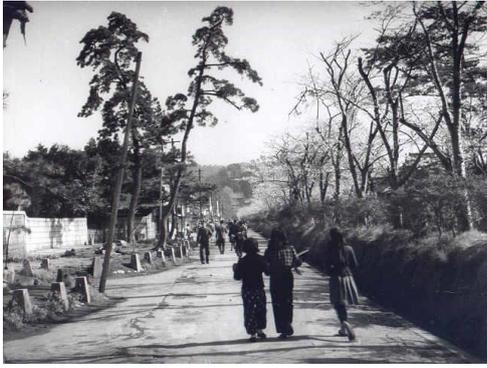


防空演習 腰越地区。(新倉正夫氏提供)

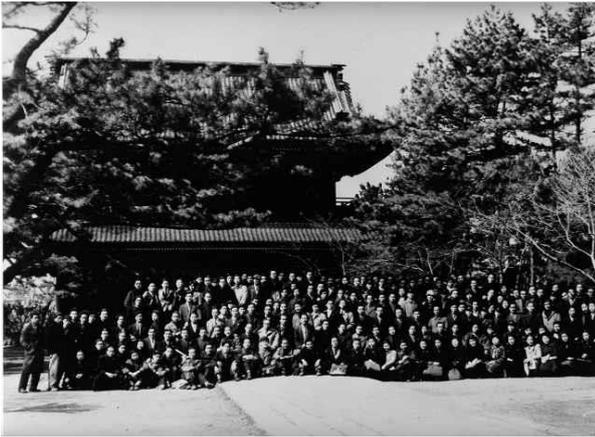


大町の子供たち集合 昭和19年。
(臼井広光氏提供)

戦後の風景



段葛脇の道を歩く女の子 昭和22年
4月。(皆吉邦雄氏撮影)



鎌倉大学校(アカデミア) 戦争から解放された知識人と若者たちが、昭和21年5月、材木座光明寺を仮校舎に演劇、文学、産業、(映画)の各科を持つ新しい大学を作ろうとした。光明寺山門にて教師と学生たち。昭和23年3月。(山村一平氏撮影・中央図書館所蔵)



鎌倉交響楽団 作曲家橋本国彦、名指揮者尾高尚忠が、鎌倉在住の新進コンダクター前田幸一郎や演奏者を中心に、トップレベルの演奏会を開催した。戦後の空気に平和と希望の音楽が奏でられた。この初代鎌響は昭和26年尾高の病死後解散した。神奈川師範学校講堂で、ベートーベン第九を公演。昭和24年5月。(大宮里奈氏提供)



小坪切通し 暑い日ざしに照らされて、小坪の漁港まで買い物に行く。戦後の食糧難の頃である。昭和24年夏。(平佐芳江氏提供)



シンシ張り作業 昭和26年頃。(桂雅子氏提供)

復活鎌倉カーニバル



復活鎌倉カーニバル
神官姿は作家久米正雄氏。
昭和22年。



漫画集団が参加 馬のような張子の横に立っているベレーの男性は、漫画家横山隆一氏。昭和22年。



漫画集団の行進 ピエロに扮して。
昭和22年。



「カニ威張る」 この年は蟹が
主神。昭和22年。



市内くまなく行進 大船観音
が見える。昭和24年。



審査員席 鎌倉市役所前に並ぶ
文士たち。昭和24年。



主神ヘップバーン 昭和29年。
(椿二男氏撮影)



雨の鎌倉カーニバル 若宮大路
に柳の並木があった。昭和35年
8月14日。(中島和晃氏撮影)



浴衣コンクール審査員 鎌倉彫
「寸松堂」にて、高見順・久保田
万太郎・小島政二郎の各氏。
昭和27年。



ミス・カーニバルを選考 中央で指揮する
のは観光協会上森子鉄氏。昭和32年。
(前畑建子氏提供)



市民座でレスリング大会
昭和24年8月7日



都道府県対抗鎌倉一周継走大会
昭和25年11月23日。そのほか、オリン
ピックマラソン強化合宿、朝日マラソン、
などスポーツ誘致に力を入れていた。



「松竹ロビンス」が親善試合 プロ野球初代優勝
チーム。昭和25年頃。(農業企画出版会提供)



国民体育大会開催 鎌倉は柔道・弓道・
テニス・水泳の会場となった。昭和30年9
月10日。(中島晃氏撮影)

鎌倉の映画館



映画館 松竹鎌倉劇場 大正6年、畑が広がる由比ヶ浜通りに突如二階建ての劇場が建った。戦時中は松竹劇場となり集会に使うことも多かった。写真は昭和15年、鎌倉・腰越国防婦人会記念。建物は昭和36年3月に焼失した。



映画館 テアトル鎌倉(常設館)
大正10年創立の常設館は昭和24年にテアトル鎌倉に。昭和28年頃。



映画館 市民座 昭和23年、まだ野外劇場だった市民座で星空のもと、封切り前の外国映画が楽しめた。戦後の鎌倉を象徴する光景のひとつ。25年からドーム型の屋根ができた。昭和39年閉鎖。場所は現駿河銀行。「ミシシッピー賭博師」は昭和28年アメリカ映画。



映画館名画座(常設館)
常設館は昭和29年に名画座に。一時鎌倉東映と名乗り、再び昭和39年に名画座に。昭和44年閉館。「グレートレース」は昭和40年アメリカ映画。



映画館 テアトル鎌倉(駅前)
昭和29～63年。昭和30年1月正月映画。昭和63年、テアトル鎌倉の閉鎖を最後に鎌倉に映画館は無くなった。大船オデオンは平成6年まで。



光明寺から材木座を望む
昭和30年。(太田敏文氏撮影)



稲村ヶ崎から富士山を 昭和30年。
(高橋勇二氏撮影)



十二所遠景 朝比奈方面を望む。
昭和30年代。(大木誠夫氏撮影)



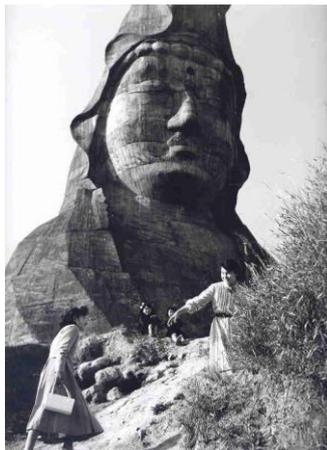
浄妙寺上空より 昭和29年。



常楽寺裏山から大船中学を 海軍の倉庫を
利用した大船中学校舎と一面の水田。昭和26
年8月。(皆吉邦雄氏撮影)



玉縄谷戸池方面 昭和26年8月。
(柳内善次郎氏撮影 大野典郎氏提供)



大船観音 戦争
中放置された大船
観音は写真撮影会
の会場となった。
(皆吉邦雄氏撮影)



玉縄城址上空 清泉女学校建設前の
玉縄城址全景。昭和35年。



手広青蓮寺前 腰越へ抜ける県道工事中。
藁葺きの手広の民家が見える。昭和32年。
(石井和行氏撮影)



水道山から山崎方面を望む 昌光ガラス大船工場の白い建物と、左手前に国鉄鎌倉寮(旧富士飛行機青年寮)の古い建物が見える。昭和33年1月 (神戸治男氏提供)



大船光学工場全景 戦前は富岡光学の優秀な技術を取り入れ、光学兵器を生産し、戦後は国産カメラ黄金時代に、OFUNAFLEX二眼レフ等を生産したが、次第に終熄していった。昭和12年～36年。敷地は現在の湘南センチュリーモーターズクル周辺。昭和30年。(大船光学OBの会提供)



深沢から鎌倉山を遠望 まん中を走るのは大船・片瀬間を走る自動車専用道路。左手の家並みは寺分1丁目あたり。右手は国鉄大船工場。昭和33年6月。(山上敏夫氏撮影)



上町屋風景 富士塚小学校辺りの丘の上から天神山・大船観音を望む。広々とした水田地帯は今、三菱電機鎌倉製作所になっている。昭和33年6月29日(山上敏夫氏撮影)



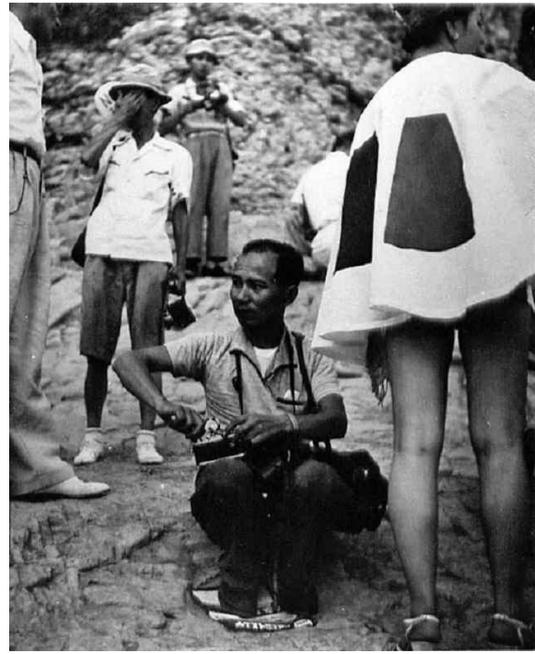
北鎌倉駅夜景 昭和31年11月。
(長野洋士氏撮影)



鎌倉駅前夜景、喫茶店「扉」
昭和34年10月。(長野洋士氏撮影)



みぞれ降る建長寺山門 昭和30年頃。
(竹腰眞一氏撮影)



モデル撮影会 良い作品をねらうカメラマン
達。昭和30年頃。(竹腰眞一氏撮影)



笛田の集落 藁屋根が主流だった。
昭和33年頃。(農業企画出版会提供)



稲刈り 打越地区。(農業企画出版会提供)



SLに牽かれて大船工場へ
昭和30年。(飛沢利夫氏撮影)



国鉄職員秋の運動会 おとぼけ一座
昭和30年10月。(飛沢利夫氏撮影)



半僧坊節分会 ひと休みする鎌倉の鳶職
の人達。昭和31年2月。(皆吉邦雄氏撮影)



半僧坊節分会 てこ舞の女性達が「まねぎ」
の掛かった店の前に行く。昭和34年2月。
(菅野勝衛氏撮影)



紙芝居に集る 山崎、国鉄官舎
あたりで。(神戸治男氏提供)



蠟石で遊ぶ 昭和30年11月。
(神戸治男氏提供)



メンコあそび 昭和30年。
(山中信夫氏撮影)



江ノ電連結車 姥ヶ谷あたりを行く。
昭和37年10月。



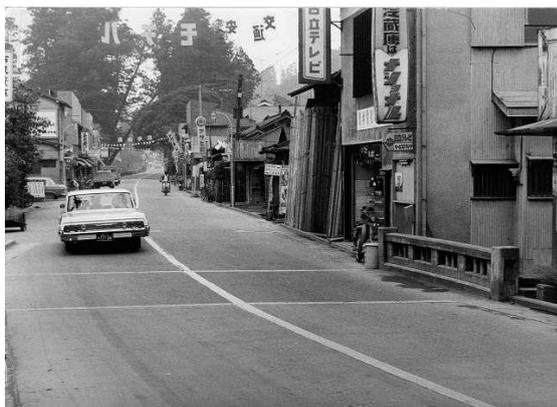
長谷観音参道 昭和37年10月。



筋替橋付近 昭和37年10月。



六地藏界限 昭和37年。



山ノ内十王堂橋付近 昭和39年。



海岸橋を通る人 昭和37年10月。



浜施餓鬼燈籠流し 現在は行なわれていない。
昭和35年頃。(三留和男氏提供)



坂ノ下船おろし 昭和40年頃。



材木座汐神楽 昭和40年頃。



どんど焼き 十二所地区。昭和40年頃。



坂ノ下はらみっと(面掛け)行列 昭和40年。



造成中の今泉信販団地 昭和39年頃。
(平出金平氏提供)



海の平和祭 「鎌倉由比ヶ浜第15回
海の平和祭」 外国人は広島・長崎原水
爆世界大会参加の帰りだろうか。
昭和41年8月。(伊藤真氏提供)



大町 蔵と風呂屋があった頃
昭和40年頃。(小坂宣雄氏提供)

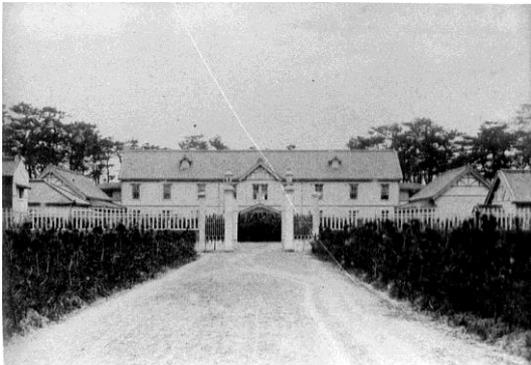
古写真を提供いただいた方と写真一覧 (2007年11月現在)



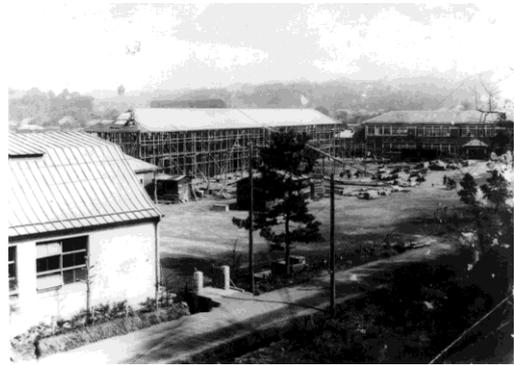
青山尚徳氏(東京)
海浜院ホテル青山支配人と従業員 明治40年頃



朝戸涼氏
カーニバル 昭和11年



阿部正道氏(東京)
海浜院 明治26年



甘粕小三郎氏 生知義正氏
小坂小学校2階建校舎建築 昭和13年



安斎謙介氏
下馬四ツ角に巨大なアーチ 大正4年



安斉智子氏
鎌倉高等女学校同窓会 大正10年



池上利光氏
夏の海辺にあったスケート場
昭和 11 年



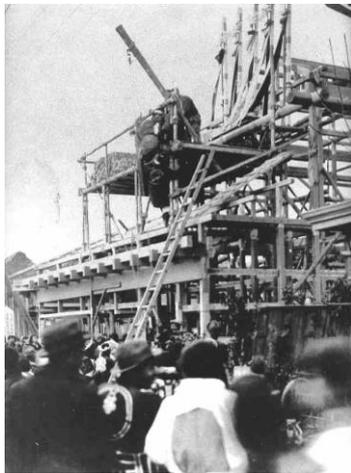
石井和行氏
手広の谷戸 昭和 30 年代



石井大二氏
鎌倉中学校 昭和 5 年



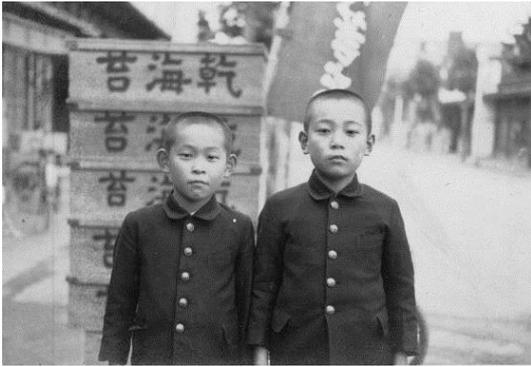
石井道喜氏
家族 昭和 4~5 年



石川喜一氏
新築上棟式 昭和 10 年



石崎正治氏
深沢の田んぼ 昭和 24 年頃



石渡源三郎氏
乾物屋の店先で 昭和 12 年



磯川韶宏氏(横浜)
カーニバルの主神久米正雄像
昭和 27 年



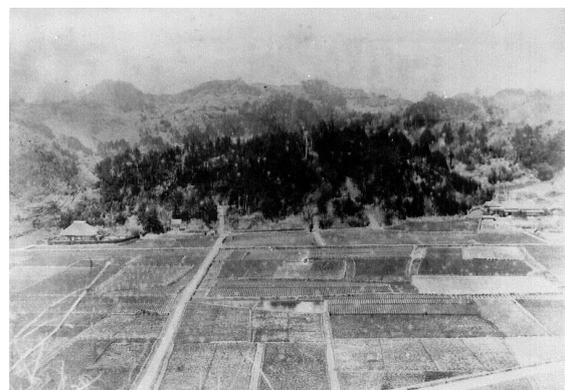
市原俊一氏
遊覧馬車に乗って 昭和 3 年



伊藤とよ子氏 もちつき



伊藤真氏
海の平和祭 昭和 41 年 8 月



稲葉一彦氏 (八幡義生氏旧蔵写真)
大蔵幕府跡遠望



井上禅定氏
小僧の頃震災に遭う 東慶寺山門



岩壁真里子氏 鎌倉市衛生課



岩沢信一氏
震災時の鶴岡八幡宮 大正 12 年



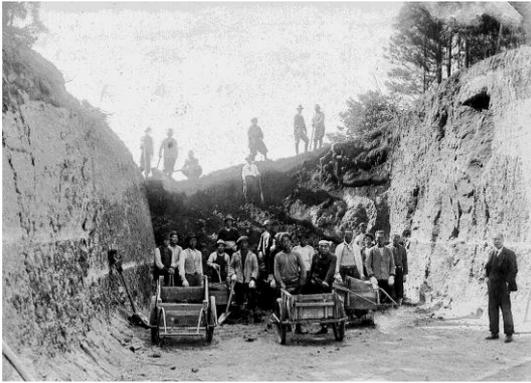
白居広光氏
夏の日に家族一同 昭和 4 年



宇多綾子氏
御成小学校校庭の林で 昭和初期



内田一男氏
カーニバル 昭和 36 年



内田源太郎氏(シゲ氏)
葛原ヶ岡参道改修 昭和 13 年頃



内田康雄氏
極楽寺坂を進む葬列 大正 13 年



内田喜恵氏
富士飛行機勤労働員記念
昭和 19 年



梅沢延枝氏
大船商店街 昭和 30 年代



江津菽枝氏(小田原)
母と 8 人の子どもたち
大正 8 年



海老原利蔵氏
鎌倉山にて田中絹代さんと子どもたち



遠藤千鶴子氏
第一小学校で同窓会
昭和5年頃



遠藤初枝氏
由比ガ浜地区葛原ヶ岡神社祭礼
昭和31年



大木誠夫氏
浄明寺泉水橋付近遠景
昭和30年代



大久保安夫氏 松竹撮影所内
昭和31年



太田敏文氏(横浜)
春の海 水族館前(坂ノ下)
昭和30年



大谷正夫氏
腰越・餅つきに集まる
昭和20年代



大中屋平八郎氏 平出金平氏
北鎌倉駅開駅 昭和2年



多忠彦氏
鎌倉市役所前にて



大野典郎氏 (柳内氏撮影)
雪の日の大船



大宮里奈氏
鎌倉交響楽団神奈川師範学校
講堂で公演 昭和24年5月



大森映氏 (東京)
海辺で「写友会」メンバー
昭和9年頃



岡本次雄氏
えんま橋で 昭和22年



小木曾秀氏
腰越本龍寺橋付近の塩屋
昭和 23 年頃



奥村研一氏
50年前の小町の路地
昭和 20 年代



尾崎春盛氏(逗子)
材木座の別荘で、母と子
大正 9 年頃



折原和子氏
大御堂ヶ谷の奥に住む 昭和 30 年頃



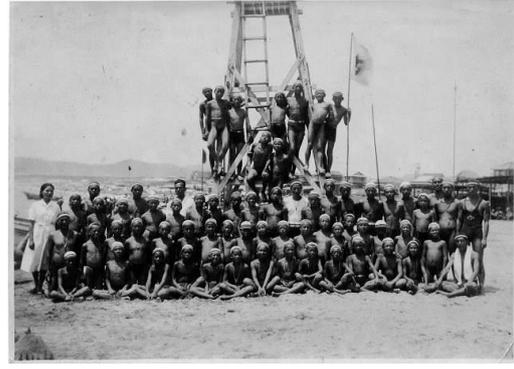
腰越食堂かきや 昭和初期



柏原英夫氏
稲村ヶ崎 昭和 40 年頃



加瀬正一氏
笹目の和風別荘 大正 8 年



片岡孝子氏
遊泳大会 昭和 16 年頃



桂一郎氏
長勝寺近くにあった馬場
昭和 28 年



加藤伊代吉氏
鎌倉山ハウスボーイの頃
昭和 25 年頃



加藤幸恵氏
華頂侯爵邸の庭園で
昭和 8 年頃



加藤茂雄氏
木遣りを唄う鳶職の人達
昭和 40 年頃



加藤忠雄氏
カーニバルの女王たち記念撮影



加藤初太郎氏
頼朝墓参道入口（雪ノ下）
昭和 42 年



門田京蔵氏
海浜ホテル庭園にて
昭和 13 年



加納美年子氏
鎌倉山人形劇「つくし座」メンバー
昭和 25 年



菅野写真館
大船駅東口付近 昭和 12~13 年



菅野勝衛氏
報国寺釣鐘祭 昭和 31 年



神戸治男氏
水道山で凧揚げ 昭和 33 年



岸美重子氏
米国艦隊歓迎記念 明治 41 年 10 月 18 日



木村春男氏
海岸で撮影中 昭和 10 年



木村彦三郎氏
本覚寺永享法難ページェント
昭和 17 年



木山善子氏
正面は長谷リビエラの建物
昭和 33 年頃



清川謹三氏
鎌倉明治幼稚園（第 4 回卒業児記念）
大正初期



久保田雅彦氏
豊島屋 昭和初期



隈元基氏
稲村ヶ崎音無橋際 新渡戸稲造別荘
昭和10年頃



栗田文四郎氏
大船田園都市街路 大正13年



黒川光代氏
夏の由比ヶ浜 昭和25年



黒田康子氏(逗子)
鎌倉ペンクラブ夏期講座で久米正雄氏
昭和12年



小池威人氏(逗子)
鎌倉市津室ヶ谷 昭和58年



小池新太郎氏
富士飛行機の変電室で電気技師たち
昭和18年頃



小泉篤子氏
クラスメイト 第一小学校女子組
昭和10年頃



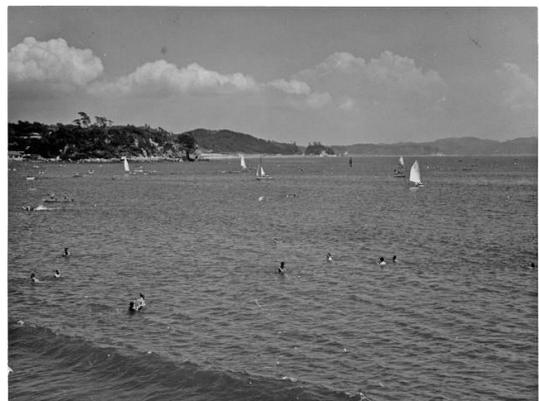
小泉吉氏
北鎌倉駅勤務 昭和2年



河野岩雄氏
所得調査記念 大正8年



河野誠子氏
鎌倉山碑 昭和25年頃



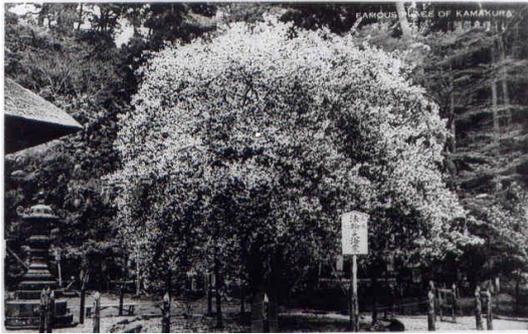
小久保孝徳氏
鎌倉・逗子海岸線 昭和27年



小坂幸子氏
大仏の前にて 大正 8 年



小坂周防氏
夷堂橋 明治 20 年代



小坂宣雄氏
妙本寺の海棠 昭和 11 年頃



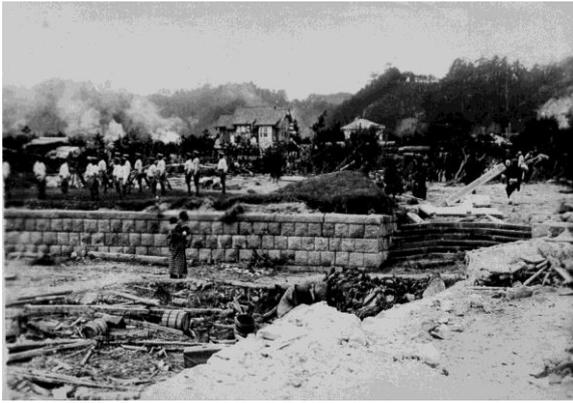
御所見直好氏
農事試験場の門前で 昭和 11 年



後藤圭子氏
鎌倉彫博古堂 明治 43 年



小林馨氏 玉縄・藁葺屋根の旧家



小林庄太郎氏(日光市)
震災、稲瀬川左岸の津波被害



斉藤ふみ子氏
江ノ島



佐々木敏雄氏
震災前の霊山ヶ崎(油絵より)



澤寿郎氏
稲村ヶ崎 明治40年頃



椎野忠雄氏
小坂小学校卒業記念 昭和24年



塩田林之助氏
玉縄・農家の家族 昭和7年



宍戸栄子氏
水道山より 元・沢藤兵器工場周辺(台)
昭和 27 年頃



柴崎牛乳本店 (長谷)
昭和 16 年



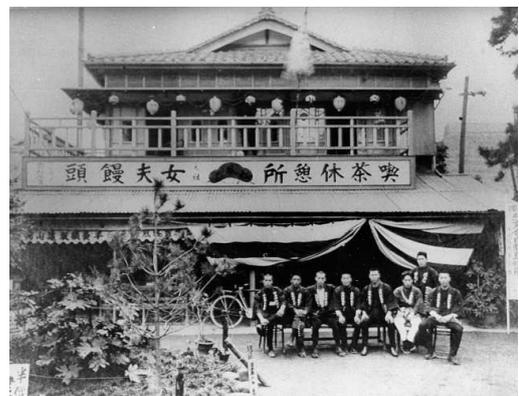
島森慎一郎氏
集美堂 大正 5 年頃



霜田繁男氏(横浜)
茅ヶ崎町甘藷立会検査の実況
昭和 8 年



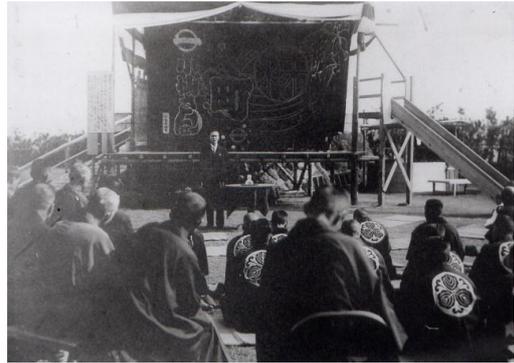
生知義正氏
八百又食料品店 (小袋谷)
昭和 27 年



松風堂
松風堂女夫饅頭 大正 10 年頃



鈴木茂美氏
大船田園住宅玄関の前で
昭和 10 年頃



鈴木隆氏
別荘建前芝居奉納（長谷）
大正 13 年



須藤文正氏
大船田園都市住宅 大正 13 年



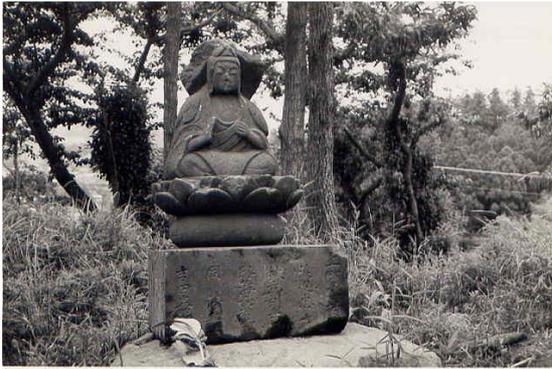
砂押勝男氏(茨城)
進駐軍の兵士が上る八幡宮大石段
昭和 21 年



関スミ子氏 材木座防空演習



関戸嘉代子氏
日米お人形交換(小坂小学校)
昭和 2 年



関根寿子氏
富士塚に立つ「役の行者」石像(寺分)



芹沢良治氏
芹沢鐵工所 昭和初期



大工原氏(岡本雷氏撮影)
手広耕地の農家 大正10年



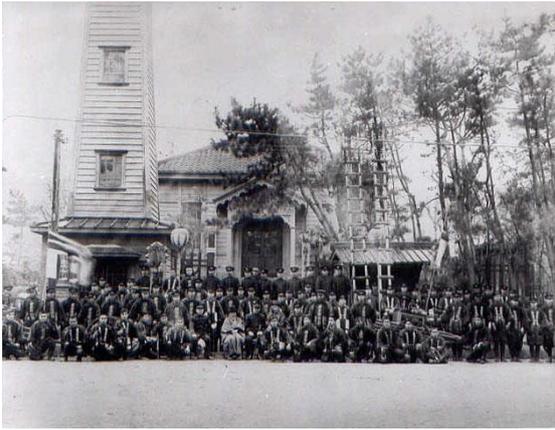
旅館対僊閣 昭和15年頃



高橋栄子氏
防空演習後の記念写真(現御成町)
昭和10年代



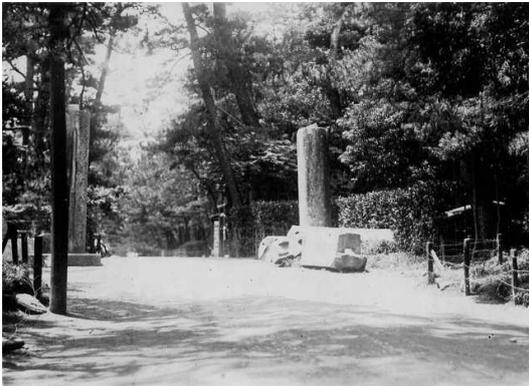
高橋金之助氏
飯島小坪間の隧道天照洞開通式
大正5年



高橋茂氏
鎌倉町消防団出初式の記念撮影
大正4年



高橋勇二氏
七里ヶ浜から小動を望む 昭和27年



高見千代子氏
震災後の一の鳥居(「史跡写真帳」より)
昭和8年



高柳英麿氏
鎌倉駅前「カフェカマクラ」
明治末期



田川誠一氏(横須賀)
香風園にて鎌倉銀行園遊会
明治45年



滝川梅子氏
鎌倉実科高等女学校(第1回卒業アルバム)
昭和6年



竹腰英美子氏
雪の日の材木座
昭和 30 年前後



武澤文夫氏
鎌倉まつり 武者行列
昭和 44 年



田中清氏
ミス・カーニバルとキリノ比大統領の像
昭和 28 年



田中美智子氏
海岸橋にて 昭和 10 年頃



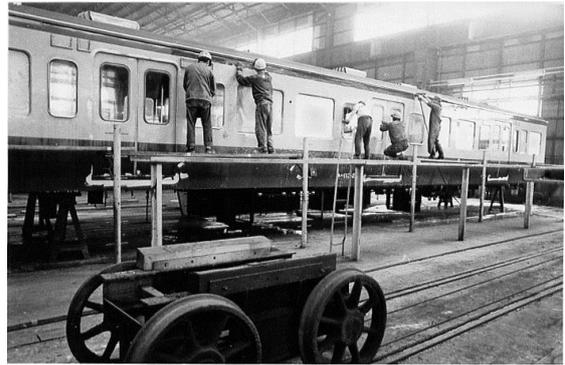
椿二男氏
主神ヘップバーン 昭和 29 年



鶴見敏夫氏
鶴見商店「海光堂」 昭和初期



寺島浩一氏
葬送行列 大正 2 年



飛沢利夫氏
国鉄 昭和 48 年



富岡洋一氏
鎌倉ハム「富岡商会」富岡周蔵氏と
山田三之助氏



永井壤太郎氏
手広の畑にて 昭和 7 年頃



中島和晃氏
松喰い虫に荒らされた一の鳥居付近
昭和 25 年



中田實氏
大船駅前通り「菊屋食堂」
昭和 18 年



長野洋士氏
円覚寺境内 水害慰問品受付
(狩野川台風) 昭和 33 年



七島寛次氏
鎌倉蛇苦止講灯笼寄進記念



新倉正夫氏 腰越浄泉寺曳家



日光写真館
鎌倉消防署(現ユニオン)



林邦雄氏
浄明寺村戸長 林権右衛門
宗兼写真館にて



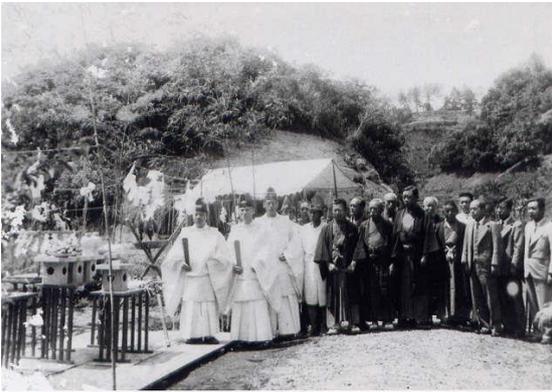
林茂雄氏
第 10 回青年団講習所修了式
浴恩館にて 昭和 9 年



樋口功氏(東京)
鎌倉八幡宮にて小学校入学記念
昭和 11 年



平井利一氏
鎌倉郡小坂村青年団・台支部
大正時代



平出金平氏
鶴岡八幡宮齋田の田植祭 (山ノ内)
昭和 9 年



平佐芳江氏
小坪切通しを通過して魚の買物に
昭和 24 年



平塚真氏
指物の「銀座平つか」が鎌倉に出店
二の鳥居脇 昭和 10 年頃



平野雅道氏
一族の記念写真 明治 34 年 4 月 5 日



福田吉次氏
入當日親戚一同で 昭和 17 年



福山純代氏
七里ヶ浜の浜辺で 昭和 9 年



細井敬氏
腰越消防組 昭和初期



堀江覚三郎氏
戦時中の記念写真



本田秀雄氏
熱いタン屋根に放水 (第一小学校)
昭和初期



前畑建子氏
ミスカーニバル 昭和 30 年



馬越晴子氏
由比ヶ浜を散歩 昭和 7 年



増澤華子氏
六地藏山ノ内線建設反対行進
昭和 48 年 10 月



松岡直彦氏(埼玉)
極楽寺橋 昭和 25 年頃



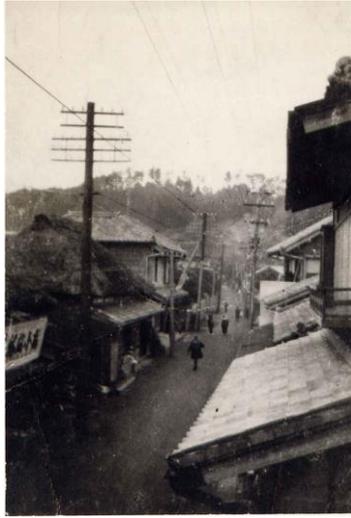
松田氏 若宮大路と江ノ電レール



松本清一氏
鎌倉カーニバル 昭和 12 年



水島隆蔵氏
極楽寺消防隊 大正 2 年



三橋泰市郎氏
長谷大通り 大正 5 年頃



三橋英夫氏
スキュー工業鎌倉工場竣工式
明治末年



三橋フデ氏
隣家に別荘を持った大浦兼武家
族 大正初期



三矢香織氏
戦前の鶴岡八幡宮大祭



三留和男氏
坂ノ下の少年楽隊 昭和 10 年頃



皆吉邦雄氏
観光馬車 (山ノ内)
昭和 8 年頃



官田潔氏
西洋洗濯（現御成町）
大正 15 年



村尾厚子氏
海の家 昭和 10 年頃



村木純郎氏
お雇外国人キヨソネ肖像写真



村田美子氏 肖像写真



森朗氏
鶴岡八幡宮へ遠足 昭和 15 年



森君雄氏
横須賀海兵団演習帰途、深沢小学校あたりで



森川元子氏
腰越夏祭り 昭和 25 年頃



矢澤正雄氏 関東大震災の材木座



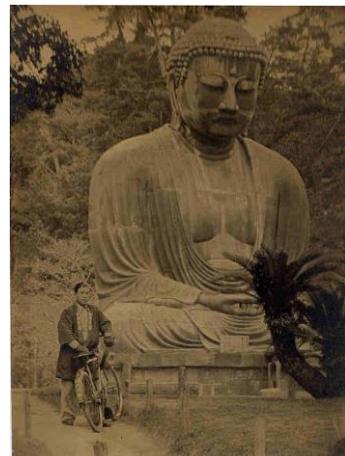
安田八郎氏 英霊を迎える。
雪ノ下大学前付近 昭和 15 年



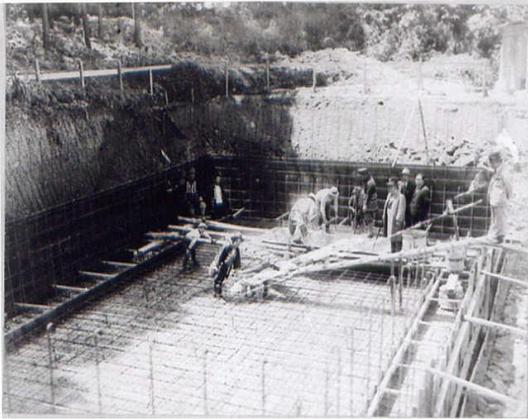
矢内原鋤子氏
クリスマスパーティー 昭和 9 年



柳内善治郎氏
大船駅を望む 昭和 26 年



山内英司氏(三浦市)
大仏の前で 昭和 7 年



山内義夫氏
防火用水工事カ 昭和 10 年代



山上敏夫氏
モルレル上町屋駅の下にあった町屋池
昭和 30 年代



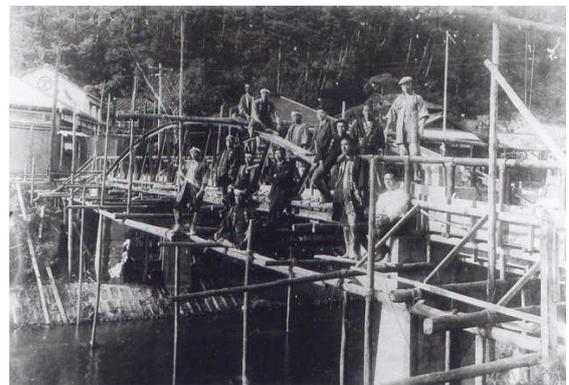
山口スマ子氏
鎌倉市区長互助会皇紀 2600 年記念
昭和 15 年



山口美代子氏
第5回鎌倉夏期大学 昭和 16 年



山下幸弘氏
震災復興状況 長谷通り
昭和 5 年頃



山田三郎氏
富岡橋をアーチ式の鉄橋に架け替え
昭和 8 年



山中信夫氏撮影(中川苑江氏提供)
第一小学校 騎馬戦 昭和30年



山本佳代子氏
江ノ島岩谷辺りにて 昭和6年頃



山本堯氏
大町三久商店 大正初期



山本隆氏 八幡宮工事竣工記念



山本若菜氏 大船松竹前松尾食堂



横田ミキ江氏
木村屋(菓子商)の半纏を着て(由比ガ浜)
大正初期



吉田屋陶器店
吉田屋商店土管瓶問屋の初荷
大正7年



米山尚志
鎌倉山ロッジ
昭和5年～7年



和田定八氏
深沢小学校で敬老会



渡辺朗氏
観光バスの客にアイスクリームを売る
昭和31年



渡辺秀氏
大船田園都市 大正13年頃

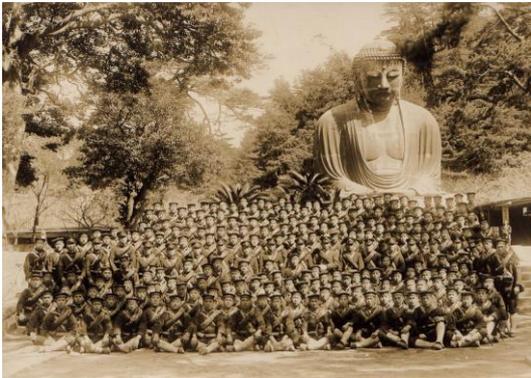
2008 年以降にご提供いただいた方と写真一覧



五十嵐英壽氏(横浜)
初詣客群来 昭和 54 年



石井博氏
婚礼の日に 昭和元年



石渡富久代氏
横須賀海兵団第27分隊
昭和 16 年 3 月



及川宣子氏(横浜)
極楽寺消防組



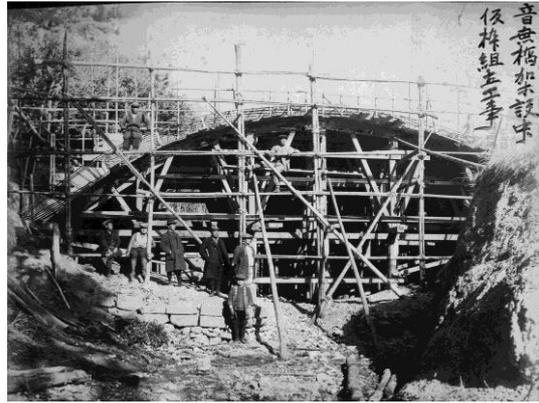
大島亨氏
駅前ロータリー 石像「二人の女」
昭和 33 年



大隅荘一氏
鎌倉シネマ



岡林馨氏
七里ヶ浜海岸 昭和 10 年頃



加藤邦明氏
音無橋架設組立工事
大正 15 年落成



喜多陽二氏
遊覧馬車 昭和12年夏



桐山香苗氏
服部之總忌(円覚寺帰源院)
昭和 39 年



小西真代氏
夏の材木座海岸 昭和 35 年



柴田泉氏
扇ヶ谷の別荘落成
昭和初期



渋谷光子氏
江ノ電納涼電車 昭和6年



羽太商店 小野幸子氏
西洋料理ハブタ(海の家)
昭和初期



真柄清美氏
夏の由比ガ浜海岸 昭和30年頃



宮崎治郎氏
「子ども隣組」 昭和16年4月



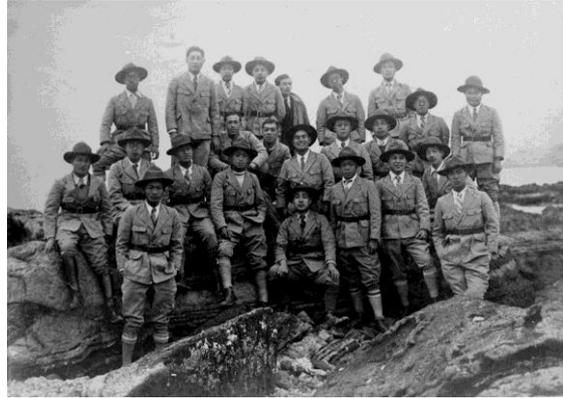
森睦夫氏
鎌倉カーニバル 昭和36年



八巻正七(鈴木)氏
鎌倉劇場 昭和初期



山本宜人(一郎)氏
郷原豆腐店主人 昭和 45 年



由比ガ浜町内会
青年団由比ヶ浜支部 油壺へ自転車旅行
大正末

写真展「古都鎌倉へのまなざし」記録集 続

発行 鎌倉市中央図書館

鎌倉市御成町20-35

編集 鎌倉市中央図書館近代史資料室

発行日 平成20年12月20日（第1刷）

平成21年12月20日（第2刷）

※令和2年4月図書館HP掲載